Merry Christmas !!

道守長崎通信

第2号
平成20年12月

道守長崎会議 HP　http://www.michimori.com/nagasaki/index.html

「ながさきサンセット・オーシャンロード」地域再発見バスツアー

風景街道「ながさきサンセット・オーシャンロード」推進協議会は、平成20年11月16日（日）に地域再発見ツアーを開催しました。風景街道「ながさきサンセット・オーシャンロード」とは、長崎県西部の美しい海岸沿いの道路（国道 202 号、国道 499 号など）のことです。平成18年度より、夕日や教会、橋などの地域資源を活用し、地域住民・NPO・行政による協働のもと、地域の魅力や美しさの発見・創出、沿道景観の保全・整備など様々な活動に取り組んでいます。

地域再発見バスツアーは、風景街道で活躍する人たちの交流促進と地域の取組みを他地域の人にも知っていただき、活動の参考にしていただくことを目的としたツアーで、約50名が参加しました。道守長崎会議からも、佐世保地区の「クローバーロード清掃隊堀内組班」・「中村造園」・「聖和学院中高等学校」、西海地区の「環境美化を考える会」の方など10名が参加し、佐世保のまちづくりの取組みについて話を聞いたり、佐世保の魅力を発見したりしました。

長崎国際大学の別府さんの案内で佐世保の街を散策しました。

創成館高校生徒会の皆さんが道守会員になりました！！！

新しく道守会員になった創成館高等学校の生徒さんから活動報告が届きましたので、ご紹介いたします。

去る11月15日に、全校生徒で付近道路の清掃活動をしました。ちょうど演劇部の大会が重なり、参加できたのは400名ほどでしたが、朝9時よりルート別に出発しました。いつもは授業をしている時間にジャージに替えて清掃活動というのは、最初は奇妙な感じでしたが、道端に落ちていたゴミを一つ一つ拾ったり、住民の方に大きな声で挨拶をしたりしているうちに、自然に自分が生活している場所をきれいにするということを学びました。ゴミのほとんどはタバコの吸い殻で、何百本も拾いました。いくら環境について考えても、タバコの吸い殻を捨てているようでは、何の効果も上がりません。環境を守るということは、こんな小さな行動から始まると思います。この日の清掃活動は天気も良く、すがすがしい気持ちで終えることができました。

★☆★創成館高校の皆さん、お疲れ様でした★☆★

雲仙市小浜町で「道路安全点検」を実施

平成20年11月12日（水）、小浜町の一般国道57号の道路安全点検を行いました。道守長崎会議の宮田隆副代表世話人の呼びかけで、小浜温泉57のメンバーや北野自治会、小浜高校、行政関係者等総勢13名で通学路や温泉街など約3km を歩いて点検しました。

高校の通学路となっている箇所では、「通学路なのに歩道がないのは危ない」とか「温泉街の街並みにふさわしい歩道整備をしていこう」等の意見がありました。

アメリカ大統領選で当選したオバマ氏が掲げる“CHANGE”を合い言葉に、温泉街オバマの活性化に向けて官民協働で頑張っていきます。

官民協働でパトロールを行えば、スピーディに問題を解決できます。

生徒たちは、歩道のない道路を歩いて登校しています。とても危険です！！

今月も「通り名」が進んでいます

「通り名」とは、古くからいわれのある通りの名前を呼び起こし、通りに名前を付け、分かりやすい道案内を行い、地域の人に愛着を持ってもらい、まちを活性化させようという取り組みです。11月も県内の各地で「通り名」のワークショップを行いました。

大浦地区では“居留地”をイメージした「通り名」が多かったです。

まず、11月7日（金）に長崎市大浦地区で行いました。道守長崎会議からは、阿野ふみ子事務局長と牧圭子長崎地区世話人のお二人が参加されました。

大浦地区は、外国人居留地というイメージが強く、居留地時代にちなんだ通り名案が多く出されました。例えば、長崎では中国人のことを親しみを込めて“阿茶さん”と呼んでいたので、孔子廟の前を「阿茶さん通り」にしようとか、イギリス人が作った散歩道は“バンド”と呼ばれていたので「大浦バンド」にしよう等、とてもオシャレな通り名案が出ました。大浦地区のワークショップはNHKのニュースで放送され、「通り名」への関心の高さがうかがえました。

諫早地区では「通り名」の具体的な形が見えてきました。

11月25日（火）には諫早で第3回ワークショップ、11月27日（木）には平戸で第1回ワークショップを開催しました。諫早は3回目ということで、プレートの素案や地域への合意形成の方法など具体的な内容を話し合い、大まかなプレート案ができました。平戸では、「英国商館通り」や密貿易を行っていた中国の商人“五峰王直”の居宅跡を「王直通り」にする等、かつての国際貿易港ならではの通り名案が出されました。

平戸では国際貿易やキリスト教等、歴史にちなんだ通り名案が多く出されました。

みちづくしｉｎ鹿児島２００８

平成20年11月28日（金）～29日（土）にかけて、「みちづくしin鹿児島2008」が開催されました。道守長崎会議からは、総勢24名が参加し、九州他県道守たちの事例報告、意見交換を行いました。

＜活動報告会の様子＞

1日目は、鹿児島大学法文学部の原口教授による「篤姫の生きた時代の街道」と題した基調講演のほか、各県の道守活動の報告、鹿児島市立大龍小学校の生徒達の清掃活動などの報告・交流会がありました。「大きな夢は小さな一歩から」自分達のできることから実践することが大切といった意見などが報告されました。交流会の後に行われた交流集会では、各地の方たちと食事をしながら意見交換を行いました。各県参加者の紹介やエネルギーあふれる和太鼓演奏などが披露されました。

＜和太鼓の演奏＞

＜参加者の皆さんで記念撮影＞

2日目は、鹿児島市内を探索し、鹿児島の歴史や文化と触れ合う学習会が行われました。西郷隆盛の墓がある薩摩義士碑や西南戦争の指令基地であった西郷洞窟、大河ドラマ篤姫を詳しく展示している篤姫館などを訪れました。

みちづくしin鹿児島2008にご参加いただきました皆様、大変お疲れ様でした。来年は宮崎で開催されることとなりましたので、皆様も是非ご参加ください。

＜西郷洞窟＞

※道守会員の皆様の活動情報を、随時募集しております。情報提供お待ちしております！！！

お問い合せ：【道守長崎会議広報担当】国土交通省 九州地方整備局 長崎河川国道事務所 調査第二課　沼野
TEL：095-839-9861　FAX：095-839-9648　E-mail：numano-t8910@qsr.mlit.go.jp